

THE JUGGLER

classic rock cover band



ターゲット: 40~65歳までの 時間とお金に余裕のある 特に音楽好きな世代の皆様(男女)=4240万人 日本の人口の約1/3です

お問い合わせ : infojuggler1@gmail.com

JUGGLER CO., Ltd.

Old school, but we need it.

大人の新しい音楽の楽しみ方として、熟練のプロミュージシャン達による70's~90'sの洋楽をカバーするバンドが2020年末結成にされた。ヴォーカルに、SixTONESへの楽曲提供などでも注目のウクレレシンガーKAIKI、世界中にファンを持つDo As Infinityのギタリスト大渡亮、ほぼ毎日ライブというセッションドラマーの松本淳、中国でも精力的に活動していたベーシストの渋谷有希子、この4人を核に活動していく予定。

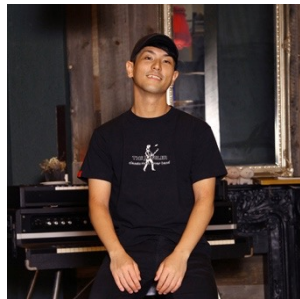
メンバーは「コロナで通常の活動が制約されているからこそ始める事ができた。シンプルに自分の好きな曲を気に入った仲間と演奏したかった」と語っている。バンド名の「THE JUGGLER」は彼らの窓口になっているオフィスの名前だが、スラングの「詐欺師」という意味が気に入り、そのままバンドの名前にしたとか。

リハーサルとプリRECは感染防止策を取りながら行われており、The Doobie Brothers、Billy Joel、Earth, Wind & Fire、Stevie Wonder、Hall & Oates、Donald Fagenなどのビッグヒットを中心にレパートリーは既に30曲を越えている。オリジナルをやる予定はなく、単純に「カバーバンドを極めたい」とのこと。

原曲ファンにとっての心躍るポイントとして、演奏の高い再現力はもちろん、帰国子女でネイティブに近いと言われるKAIKIの歌にメンバー全員がハモれる事が挙げられる。またこの時代を知らない若年層にとっても、今もCMなどで使われ耳馴染んでいる曲が多いので世代を越えて楽しめるはずだ。

この企画を知って参加を希望するスタッフも多く、何より現場が純粋に楽しい、音楽が好きな気持ちを再認識できるとの話。

SNSや動画配信と並行してついに3月からLIVEもスタート。言うまでもない名曲揃い、そしてやはり「生音は格別」とその場にいた全員が実感している。



◎KAIKI (Vo)

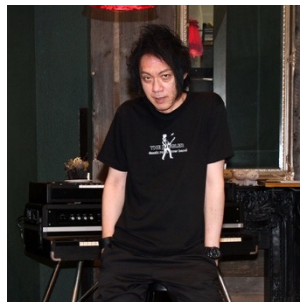
・ウクレレシンガー

3歳から始めたウクレレの腕前は、本場ハワイの有名メーカーから日本人唯一のモニターに指名される程。大学時代をフィリピンで過ごし、ネイティブに近い英語力を持つ。歌い始めて日が浅いにもかかわらず、魅力溢れる声質と歌唱力でシンガーとして急成長。



◎大渡亮(G)

・Do As Infinity、ミサイルイノベーション
ご存知Do As Infinityのギタリスト。ロックだけでなくあらゆるジャンルをこなす音楽人。ギターへの造詣も深く専門誌で取り上げられる事も多々。まあ、碎けすぎたそのMCを目当てにLIVEに足を運ぶファンもいる。



◎松本淳(Ds)

・Do As Infinity、ROLLY

UGUISSのドラマーとしてデビュー。TULIPのドラマーを経てセッション活動を開始。渡辺美里、大江千里、藤井フミヤ、福山雅治、今井美樹、hitomi、大塚愛、櫻井翔、中森明菜、清木場俊介など数々のビッグ・アーティストと共演している。



◎渋谷有希子(B&Key)

・KIYO * SEN

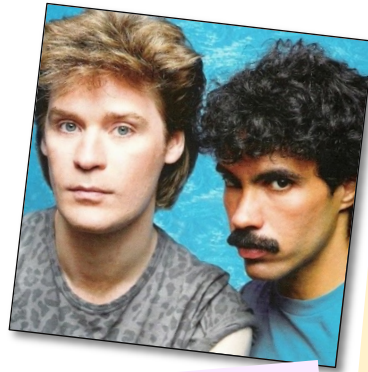
ベース、キーボード奏者。ライブサポート、スタジオミュージシャン、劇中音楽制作にも携わる。渡瀬マキ、松岡英明、PANTA、斉藤哲夫、Do As infinity、南條愛乃など。
'19年までの数年は日本での活動の他中国に拠点を置き、現地バンドのドームライブや全土ツアーに参加。百戦錬磨の仕事師。

Our Repertoire

What a fool believes / The Doobie Brothers
New Kid In Town / Eagles
Wait For Me / Hall & Oates
Piano Man / Billy Joel
September / Earth, Wind & Fire
China Grove / The Doobie Brothers
Rosanna / TOTO
My Life / Billy Joel
Isn't She Lovely? / Stevie Wonder
Easy Lover / Philip Bailey, Phil Collins
Desperado / Eagles

Sir Duke / Stevie Wonder
Saturday in the Park / Chicago
Every Breath You Take / Police
Kiss on My List / Hall & Oates
Centerfold / The J. Geils Band
The Power of Love / Huey Lewis & The News
Keep On Loving You / REO Speedwagon
I.G.Y. / Donald Fagen
Change The World / Eric Clapton
Englishman in New York / Sting
Turn to Stone / ELO

The Best Of Times / Styx
The Reflex / Duran Duran
Miss Me Blind / Culture Club
Pour Some Sugar On Me / Def Leppard
JUMP / Van Halen
Everybody Wants To Rule The World / Tears For Fears
Virtual Insanity / Jamiroquai
Freedom / Wham!
I Shot The Sheriff / Eric Clapton (Vo:RYO)
Time After Time / Cyndi Lauper (Vo:YUKIKO)



このバンドの使いみちいろいろ

THE JUGGLER
classic rock cover band

ターゲット:40～65歳までの 時間とお金に余裕のある 特に音楽好きな世代の皆様(男女)=4240万人 日本の人口の約1/3です

<営業LIVE>



企業イベント・各種パーティ・ビアガーデン・食フェス
アーティストを呼んで知らない曲ばかりやられるより、間違いなく盛り上がる方がいいですよ。
ご希望があれば選曲リストから事前に何曲かお選び頂く事も可能です。「**ウェディング**」などで思い出の曲がマッチすれば、生演奏が最高の演出になります。
さらに音響機材やオペレーターをセットにできるので、場所と電源さえあれば手間なく実施できます。

<楽器イベント>

売りたい楽器～ギター、ベース、ウクレレ、ドラムなどを使って実演奏も可能です。
デモンストレーションバンドとしてお使いいただけます。



オリジナルグッズも販売します

<ソロLIVE>

配信を視野に入れたライブハウス等でのLIVE活動。
レパートリーが豊富なので毎月でも可能です。
ライブレストランなどへの定期的な出演で、大人の遊び場を作ります。

<CM音楽制作>

原盤を使えない海外楽曲をカバー。煩わしい許諾や使用料も不要。バージョン違いもご相談ください。

※音量制限がある場合、生ドラムからVドラム、または打ち込みに変更することも可能です。

※楽器・機材は最小限。コンパクトに移動、演奏ができます。

<ご注意> メンバー個々の仕事は承れません

【はじまりによせて】

僕たちのいる音楽業界はコロナで仕事はどうにもなくなりました。無意味に時間だけは余ってしまいました。

なので去年の秋ぐらいから気に入ったミュージシャンに集まってもらって、町のリハスタで昔の名曲のカバーを始めてみました。勿論僕はプロデューサーですから僅かなギャラという名の交通費をみんなに払ったり、必要な機材を用意したり、スタジオ代払ったりして、とりあえず記録をしていました。確たる目的はなかったのですが、なんかアンプから音出さないとこのまま全てが終わっちゃう気がしてました。ミュージシャンもスタッフも被害は深刻でこのスタジオだけが唯一の音楽活動なんて人もいました。何十年も頑張ってきたことを根本から否定されたみたいで、口にはしないけどみんな今回のコロナは相当ショックだったみたいです。

最初は遊びだったけど段々面白くなってきたのか月2回のリハ以外も、リモートでMTGしたり、足りない楽器の音をプリレコーディングしてデータで打ち込みを同期させたりし始めました。コーラスも譜面起こしてスタジオ前にそれ用のリハを重ねたりして。20歳の頃に逆立ちしても弾けなかったフレーズがなんと簡単に出来ちゃったことか。全くわからなかったコードの積みの意味が初めてわかりましたよ。「なにをやってんだろうねえ、俺たち」って言いながらレパートリーは30曲を越えました。

確実なことは次のリハをみんな楽しみに待ってるってこと。高校生じゃないんですけどね。練習が終わっても今どきは飲みにもご飯にも行けないけど顔合わせるだけで満足なんだなあ。バリバリの現役のプロがノアの昼の6時間パックの為に朝から電車で楽器背負ってくるのは最高です。本気で楽しいんす。だからバンド名なんてなんでも良かった、スタジオの予約がこの名前だったからぐらいの理由です。

コロナは最悪だけど、このバンドができた事だけが救いかもしれません。なので折角だから皆さんにも見てほしいなと。方法はなんでもいいんです。できる時にやらないと、YouTubeでも配信でもライブでも。「The Doobie Brothers」「Billy Joel」「Hall & Oates」「Chicago」「Stevie Wonder」「Eagles」「Earth, Wind & Fire」「TOTO」etc. 全部が名曲ですよ、これで盛り上がりたらないはずがない。僕もA&Rになって30数年70数組目で初めてオリジナルやらないバンドを担当します。今までカバーバンドなんて考えてもみなかった。オリジナルをつくってヒットさせて武道館に駆け上がることが全部だと思ってたんですから。

でもね余計なことは考えない。シンプルにいい曲があっていい演奏が聞けてて楽しければいい。(後おいしいご飯があれば。)ペシミストじゃないけどもう先のことなんか本当にわかりません。だったらできる時にやらないと。参加してくれる皆さんは単純に演奏が好きでもいい、誰かと昔を懐かしむ時間でもいい、ボランティア精神で一緒に乗り切ろうという気持ちでもいい。まず僕らが楽しいんでそれを見に来てください。

DoobieもBillyもHall & OatesもStevieも、少なくとも後2年は日本には来ませんよ（笑。コロナもそうだけど第一老人だし。だから来ない間は歌い続けようって思ってます。そして来日した時には言いたいです。ちゃんと僕らがつなげてましたよって。

2021年3月 A&R 原田 淳